

広報 えびな



市章

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代)/〒243-04



市の木つげ



市の花さつき

毎月1日・15日発行

スポーツのあい間に友人と談笑...海老名中学校にて撮影



青少年アンケート



非行やいじめなどが大きな社会問題となつていますが、その発生の一つの要因は、青少年を正しく理解できないところにある、といわれています。市では、市青少年指導員連絡協議会の協力を得て、昭和五十四年から五十五年間をかけて小学生から高校生とその父母の実態調査を行ってまいりました。その結果がまとまりましたので紹介します。

家庭教育の主役は母親

五年かけて調査

青少年アンケート調査は、昭和五十四年から五十五年間にわたって調査されました。市青少年指導員が自分の住む地域の各対象者に調査票を配り、回答を得て各年度ごとに集計しました。

調査対象は、五十四年度が小学生、五十五年度が中学生、五十六年度が高校生、五十七年度が中学生を持つ父親、五十八年度が中学生を持つ母親となっております。調査数は延べ六千三百八十八人でした。

家族の話題に

「海老名市の家庭教育・幼児編」を執筆した福学院大学講師の浜田三雄さんは、この青少年アンケート調査結果について「真剣に子育てを考えている

この五年間にわたる調査結果を家庭の状況、信頼関係、家庭の教育、生活態度、将来の希望職業、学校生活、塾・おけいこ、地域活動、家内暴力、暴走族・オートバイの十項目に整理分類して二冊にまとめられたが、青少年アンケートのまとめです。お父さんやお母さんの極みと子供の親に対する期待が胸に伝わってくる思いです。この伝わってきたものが、今後のより望ましい子育てのための解決課題になる」と語っています。そして、調査は、ただ実態を知れば良いとするのではなく、今後に必要な問題発見と解決のための資料として活用されてこそ、はじめて価値を生むものだと述べています。

中学生の55%は母親と現実的な会話

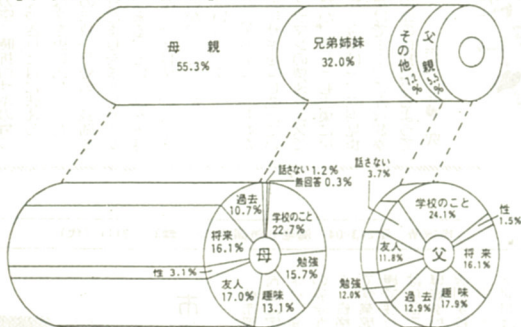
「アンケートのまとめの一節である『家庭の話題』は、次のように説明しています。

中学生の約半数は母親と最もよく話し、次に兄弟姉妹、そして父親の順に話しています。これは、家族の中で心理的距離を反映しているようです。

父親や母親との話題を比べると、父親とは「学校、趣味、将来」のことが上位を占め、母親とは「学校、友人、勉強」のことが上位を占めます。傾向としては、父親とは「生き方」を、母親とは「現実的」なことを話題としているようです。

両親が各々の役割を分担していること、あるいは母親が父親と話す中学生が少なすぎます。父親との会話が少なすぎると、子育てに対する自信のなさを関連しているようです。

【中学生に対する質問】最もよく話すのはだれですか？



【親に対する質問】どんな話をしますか？

子供の傾向を知ってほしい

海老名市青少年指導員連絡協議会

会長 三本松 久助さん

(上今東四丁目・55歳)



三十年ほど前までは、子供たちの生活行動範囲は家庭、学校、家の近所に限られていました。そして、その中で世の中のことを知り、学ぶ機会も限られていました。そのため、親は、子供が何を考え、何を望み、何に不満を持っているか、おを見逃しがちでした。

しかし、現在では、子供たちが世の中のことを知る機会も、昔ほど単純ではありません。生活行動範囲も広がっており、テレビなどを通じて、色々な情報も手軽に知ることが出来ます。

こうなると、私たち大人は、子供たちの考え方を本当に分かっているのだろうか、という疑問に直面します。

このアンケート調査は、子供たちの全体の傾向を知って、その必要性から五年間かけて行いました。この調査結果を、各家庭の参考や家族の話題の一つとして活用していただきたいと思えます。

火災！すでに7件

2月28日～3月13日 春の火災予防運動

怖いのは「消したつもり」と「消えなはず」



春の火災予防運動啓もうポスター

火災原因(60年中に市内で起きた火災 38件)

火災原因	件数
電気関係	2
たき火	2
ストーブ	3
風呂がま	3
たばこ	4
こんろ	7
放火(疑いを含む)	8
その他	9

春の火災予防運動は二月二十八日から三月十三日まで、全国一斉に実施されます。これからの季節は寒気が乾燥し、風も強く吹き火災が起しやすい時期です。市消防本部、消防団では、消防活動、予防活動、消防演習を実施します。この予防活動とは、市内の集会所四か所、サイレンを鳴らします。

3月7日(金)午前7時
春の火災予防運動の一つとしてサイレンを鳴らします。火災と間違えないようお願いします。

大型店舗八か所と危険物運搬車両の火災に対する備えを調べたり安全点検をするものです。とて、伊豆熱川の悲惨なホテル火災が起りましたが、市内には消防施設がホテル二軒、旅館三軒あり、これらの施設に対しても消防本部では毎年予防活動を行っており、万が一のため火災に對する備え万全を期すよう指導しています。

三月四月は引越しのシーズン。市役所へ届けを出すのはもちろんのことですが、引越しの日が決まったら次の所へ必ず連絡を。

電話・水道・郵便局

子供たちに

市立中央公民館

春の火災予防運動の一環として、三月三日(日)午前九時～午後一時、市立中央公民館(〒32-332)にて、子供たちに「火災予防」を教える講座を開催します。

講師は、市消防本部の消防士。内容は、火災の原因、火災の予防、火災時の対処法などについて、子供たちにわかりやすく説明します。

参加費は無料。申し込みは、市立中央公民館(電話332-332)まで。



子供たちに

八日(金)午前九時半～正午、市立中央公民館。講師は東京電力労働組合の職員。内容は、火災の原因、火災の予防、火災時の対処法などについて、子供たちにわかりやすく説明します。

参加費は無料。申し込みは、市立中央公民館(電話332-332)まで。

三月四月は引越しのシーズン。市役所へ届けを出すのはもちろんのことですが、引越しの日が決まったら次の所へ必ず連絡を。

電話・水道・郵便局

金指さんの献眼に感謝

海老名市のアイ・バンク活動



献眼活動の他に献血活動などにも協力

海老名市アイバンク活動(四) 利光会長、会員6人が、献血の「金指さん」の献眼に感謝の言葉を述べ、そのお礼として、アイバンク活動の推進に協力する旨の謝辞を述べた。

この謝辞は、アイバンク活動の推進に協力する旨の謝辞を述べた。

二月十八日から十九日にかけて、二十日の降雪がありました。五十九年十一月と二月(大雪)が重なりましたが、今回はそれを上回る積雪は観測されず、雪害は軽微です。

市道管理課では、十八日の午後四時過ぎから、相模川のほとり、雪の堆積が三か所、積雪三センチの計七か所の通行止め措置を行いました。翌十九日は、雪の名残のみの積雪のほか、同日午後危険な所十三路線に凍結防止剤を撒きました。

今月のフタバ

ひもが結べない子供が増えた!

「子供たちは、ひもを結ぶのが上手になってきています。三年前の同じ調査は、四歳で自立していたものが、現在では四、五年生にならないため、手まがきが必要に不慣れになっています。」

「調査をして驚いたのは、ひもを結ぶことができない子供が増えたこと。困窮している小学生がいるんです。ひもを結ぶということが、生活の基礎技能の一つです。子供たちが生活技能を身につけていくことが大切です。」

子ども生活技術調査を行った、杉久保小学校教諭 渡部 真弓さん



家庭で生活体験の場を、と渡部さん

「手まがきは、腕を刺激し痛さを覚えます。勉強も大切なけれど、生活体験の場も大切です。子供たちが生活技能を身につけていくことが大切です。」

「調査をして驚いたのは、ひもを結ぶことができない子供が増えたこと。困窮している小学生がいるんです。ひもを結ぶということが、生活の基礎技能の一つです。子供たちが生活技能を身につけていくことが大切です。」

市役所 〒243-04 海老名市国分155 ☎31・2111 (代)

競技会	期日	会場	申し込み期限
陸上競技会	5月18日(日) (雨天時6月1日)	県立体育センター	4月2日(水)
卓球競技会	6月22日(日)	県立体育センター	5月14日(水)
水泳、洋弓、盲人卓球競技会	7月27日(日)	県総合リハビリテーションセンター	6月18日(水)

市役所 〒243-04 海老名市国分155 ☎31・2111 (代)

市役所 〒243-04 海老名市国分155 ☎31・2111 (代)

さわやかテレホン ☎33-1212

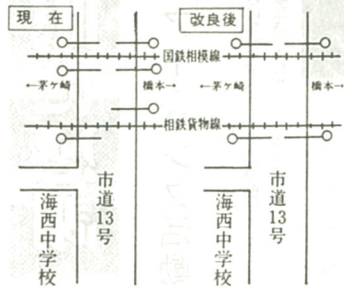
1週ごとに新しい情報を

2/24～3/2は、税金の話・その2
3/3～9は、市長への手紙から①
3/10～16は、市長への手紙から②

2つの踏切が1つに



海西中わきの相模線の踏切



改良後は踏切内に入らないで!

国鉄相模線厚木駅の北側、海西中学校わきにある踏切(図)が改良されます。海西中学校の北側を市道三三三線が相模線にかかる踏切、国鉄厚木三三三踏切及び相模相模線分五号踏切は、国鉄相模線と相模貨物線の二つにそれぞれ渡断機があり、別々に締まっています。この二つの踏切を一つにして、両端の渡断機が一緒にしまつたようになります。実際の予定は三月中旬頃です。改良後は踏切内に入らないように注意してください。

▼民話 ▼みんな ▼民話

相模国分寺の造詣は遠く、当時の農民が運んできた礎石、その血と汗のしみみみこむ礎石が惜しいことに完全には残っていない。すでに千二百年も経っているから、その間さまざまなことがあったであろうが、比較的現代になつて散逸したものが多いようである。

七重の塔の跡の処には近世まで熊野社があった。古老の語ではひと抱え以上の太い古木の生い茂つていて庭園でも趣を通るに気味が悪かつたという。風土記稿に「熊野社、社の傍国分寺堂塔の有所なり」と云、国分寺持、礎石等

今も社に「存す」と記し「国分寺井田跡」という絵図も描かれている。纂するに今から四五百五十年前までは塔の礎石は四角三つ四列に正方形に配石され、まん中に心礎があったに違いない。中山毎吉先生も「今は僅かに十箇を止むるに過ぎぬが、明治の初年までは四・一・七の如く心礎を始め間石まで八に亘る存在していた」と相模国分寺誌に書いておられる。

忠魂碑を清水寺の境内に建てたため、その土台とついで運び去られたのである。何しろ高さ約四尺、幅一・三寸もある仙台石の礎の台石であるから白粉の矢が立てられ

たのであるが、今となると惜しまれてならない。その礎は震災で折れてしまい、今は再建されたもので、仁王門前中央に移転されている。台石の長径二・四六尺は、中山先生の記録「徑八尺許」(ばかり)にはほぼ匹敵する。短径は一・七尺ほどで全体の形は少し楕円(た)の形である。高さ約六寸の台石は裏返しを用いてあるので上面は滑らかなのでない。

そのまん中にあるへそじついで「上面は平坦に削刻し中央に徑三尺、高さ二尺五寸許の円(丸)が鑿出さる。其円の上は径五・六寸深さ若干の穴が穿(う)けられた。中央に穴が穿たれておるのは柱の下に繰出しを造り、それを壁はめ込むため

海老名むかしむかし
 電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
 電話 333・3838
 電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
 電話 333・3838

フォトピックス

幸運ノ3人

お年玉郵便が第一等当選者
 が市内から三人出て、二月四日、市内年賀ハガキ一等当選者
 幸運な3人は、国分(中山和さん)、同所の広瀬長正さん(会社員、48歳)、大谷の中山さん(会社員、33歳)。中山さんは、余った五枚の年賀ハガキの中の一枚が、お年玉郵便の一等当選者

海老名郵便局で太田健治局長から当選者に賞品のビデオ・デッキが渡された。

フォトピックス



太田局長(左端)からビデオを手渡される中山さん、小川さん、広瀬さん、写真左から

老人介護の学び

老人ホムム忠荘で家族教室
 二月十五日、特別養護老人ホーム中心荘(浦野正水施設長)で家族教室が開かれた。市の福祉課主任・サイ

らつたものうちの一枚が当たった。広瀬さんは代理の妻吉子さんが受け取りに来たが、三人共新年早々の福徳に顔をほころべていた。

市内で配達された年賀ハガキは、約二百二十万通。一等の当たる割合は寄附金なしが百万本に三本寄附ありが百万本に四本。ひよとしてあなたの家に来たものの中にも。



介護の体験を語り合う参加者

フォトピックス

出品数は一万点

障害者の作品展示即売会
 ティーサーズについては補講(31・2・1)内編、痴ほう性老人に関する相談は同課または中心荘(31・7・15)で受け付けている。



木工、手芸、工芸品を通して、障害者に深い理解を、と二月十五日から三日間、ティール館本店三階で作品展示即売会が行われた。県障害者地域作業所連絡協議会(浜田幸生代表)主催のこの即売会には、流水を流った置物から繻(まゆ)玉で作った飾り物まで約一万点の作品が出品され、連日買物客でにぎわった。

フォトピックス

寒仕込みみそ

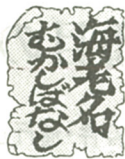
農協婦人部さつき会で仕込み
 市農協婦人部のさつき会(農業後継者の若妻の会、清水康子会長、会員25人)が中心となって、米こうじと大豆をまぶさつきき会員



うと、さつき会が六年前から始めた。今年も他の会からの参加もあり、一月から五月にかけて六十五人が、三人ずつ組んで、国分にある農協の青壮年部・婦人部センターで仕込みをしている。一人が約五十kgの味噌をつくるが、六、七人の家庭の一年分がまかなえるそうだ。

フォトピックス

さつき会では、大豆を作り、それを自家製の米で作ったこうじにまぶして作るため、塩以外はまじりけのないまじったく海老名産賞味できるのは秋になって、毎年十一月に開かれる産粟まつり出品し、一・四百四十kg程度で漬けられているが、減塩無添加で風味豊かに先り切れてしまつ、頑布用に今年も百kgを仕込んだ。写真は二月十四日撮影。



相模国分寺の礎石の行方(上)

ふとびつ

フォトピックス